

市道認定路線の除外（終点変更）要望について

平素より、市政はもとより地域振興に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く感謝申し上げます。

山田新自治会では「農地・水・環境保全向上対策事業」に平成21年度から取り組んでおり、そのなかで農道の路肩の一部に「ひまわり」や「キバナコスモス」を植栽した景観活動を行ってきました。また、平成22年度からは南砺市の「協働のまちづくり事業」にも参画し、山田新地内にある福光インター付近の国道304号線を「フラワーロード」と称して「サルビア」で植樹帯を花壇として活用する活動も実施してきました。

さて、市道（山田4号線）の現状につきまして、終点側100m程度が集落内では数少ない砂利道のままで、農耕作業時以外はほとんど利用されることのない耕作道となっています。

このため雑草の生長が早く景観上も放置できず、また、通行車両が極端に少ないことによる路面の傷みもあり、農村風景としての景観に配慮した活動ができないかと考えています。

具体的には道路法面にはヒメイワダレソウを、路肩にはキバナコスモスなどの植生を行い、路面は自治会住民の自力施工によるコンクリートによる簡易舗装の実施などを計画したい。

については市道のままでは道路管理者の意向も尊重することとなり道路占用および活動の内容や方針等について制約が多々発生することも危惧されます。

市当局におかれましては地元の意向をご賢察いただき、活動に支障が生じないように山田4号線の砂利道区間を市道から除外願いたく要望いたします。

平成24年12月6日



工本課

山田新自治会長 山村 明夫





